

項 目		主 な 意 見	主な意見の要約
安全・安心		・道路が狭い。住みやすさに関係する。道路の整備を含め住みやすさを考えていけたら。	➤ 道路などのインフラ整備
		・調査結果で「防災訓練に興味があるが参加したことはない」が多いということであれば、公園に施設を作って365日いつでも体験できるようにすればよい。	➤ 公園に防災訓練を体験できる施設の整備
		・防犯カメラをもっと増やしたほうがよい。また、防犯灯を増やすことは一番やってほしい。	➤ 防犯灯、防犯カメラの整備
		・南区で仕事ができる環境を作れば、災害対策も企業と連携して実施できる。	➤ 企業と連携した災害対策
		・防災イベントだけでなく、地域の食材を使ったフードフェスなどを同時に開催して、若者の集客が見込まれる防災マルシェを開催することもよい。	➤ 防災イベントと食のイベントの合同開催による相乗効果
子育て・教育、健康長寿		・子育てについて、子育てしていない世代は、関係していないから現実性がない。子育てしていない世代に良いイメージを持ってもらえる取組が必要。	➤ 子育てしていない世代へのPR方法
		・子どもの一時預かり施設が南区には少ない。施設を増やすことで若い子育て世代が南区に移りに来てくれる。	➤ 子どもの一時預かり施設の整備
ブランド戦略		・学生が運営するイベントであれば、友達がやってるから行ってみようとなり、若い世代が来やすくなる。	➤ 若い世代が実施するイベント
		・南区はたくさん自然があるし、きれいな公園もあるので、観光に対して広告を多く行えたら、海外観光客が来てくれる。	➤ 自然や公園に着目した観光誘客
		・ブランドを発信する際にインフルエンサーを雇うことは有効。	➤ ブランド発信の方法
		・南区のInstagramとかユーチューブは発信方法が高校生向けとなっていない。発信方法も考え直してほしい。	➤ SNSの活用方法
		・「youtube short」も有効。南区もみみちゃんのユーチューブを使って、社員の様子とかも伝えつつ、南区をたくさんの人が紹介してはどうか。	
		・光明池駅前のサンピアの舞台で歌手が歌ったりしていた。そのときは、物すごく人が集まっていたので、そういうものを復活することが大事。	➤ 人が憩える場所の整備
		・高校生向けの広報「みなみ」の簡易的なバージョンや飲食店情報などを載せたもちらしを作ることもよい。	➤ 若者向けの広報誌
スマートシティ		・区役所の手続きでどの書類が要るかHPを調べてもわかりにく。HPにまとめがあったらよい。	➤ 区役所手続きのわかりやすさ
		・場所や交通アクセスの良さが住みやすさに直結する。	➤ 交通環境の整備
		・年配の方はスマホを使えないことが多い。若い人が教える場を設けたら交流も増え、年配の方たちも使いやすく、また過ごしやすくなる。	➤ スマホを使った多世代交流
その他	世代に関すること	・学生は、南区で遊ぶとはならない。遊びに行く高校生、若い世代が行きやすい場所がないから、公園でも高校生は集まるので、場所あればよい。ベンチとなると、どちらかと言えば御老人が座っている。	➤ 若い世代の遊び場や居場所
		・調査結果を40代以下で見たときに、40代が圧倒的に多く、20代の約2倍。40代の意見に寄っている。20代、30代、40代とデータを分けてとったほうがいい。	➤ 若年層の意見の集約
		・高校生向けの広報「みなみ」の簡易的なバージョンや飲食店情報などを載せたもちらしを作ることもよい。	➤ 若者向けの広報誌
		・地域の運動会ををするとしても、若い人の興味を引くことは大切。	➤ 若い世代の関心
		・学生が運営するイベントであれば、友達がやってるから行ってみようとなり、若い世代が来やすくなる。	➤ 若い世代が実施するイベント
		・空き家を利用して、高齢者が若い子どもたちに教えたら、子どもたちも賢くなり、南区に住む若い人も増える。	➤ 高齢者と若い世代の交流
		・年配の方はスマホを使えないことが多い。若い人が教える場を設けたら交流も増え、年配の方たちも使いやすく、また過ごしやすくなる。	➤ スマホを使った多世代交流
	多様性に関すること	・国際化であれば、世界の食べ物を集めるイベント。いろんな人が集まれる場所で行った方が良いが、学生、中年代、高齢者などいろんな人が行ける場所を考えると、駅近のところがよい。車で行きやすいところとかでも、歩いて行きやすいところも全てが揃っている場所が理想。	➤ 世界各国の食のイベントの開催
		・オンラインの日本語教室をつくること。忙しい人のためにオンラインの教室があるとよい。	➤ オンラインの日本語教室
		・海外から来た人が自分の国を紹介できるイベントを南区で開催することを提案する。自分が経験したことを通してお互いの文化を知るイベントが必要。国によって文化や考え方が違うが、それぞれの文化は全て素晴らしいもの。お互いの文化を尊重し、自分の国を恥ずかしがらないで過ごせるようになってほしい。	➤ さまざまな国の文化や考え方を知ってもらうイベント
		・様々な文化を楽しみながら学ぶことができるイベントがあれば、いろいろな国の文化や考え方、背景を知り理解することができる。海外にルーツのある生徒と交流することで、お互いを認め合い尊重することができる。	
		・日本に來たばかりの時は、コミュニケーションや人との関わりが結構難しい。学校でも友達ができなかったり、言葉の壁がある。	
		・掲示板で英語の表記がないことがある。	➤ 多言語化の対応
	地域に関すること	・バス乗車時に時刻表の見方が分からないとか、バスと電車を使って帰るのが難しかったとかを聞く。言語のサポートが必要。	
		・英語など多言語で表示することも良いが、見てもっと分かりやすい図があれば良い。	➤ 多様な案内方法
		・地域の人とのコミュニケーションが必要。地域の人と擦れ違って挨拶しても返ってこないこともある。地域とつながっているだけでも防犯や災害時に寄与する。地域のコミュニケーションは大切。	➤ 地域コミュニケーションの重要性
		・スポーツ大会のイベントが良い。チームを地域ごとに競わせるようにしたら、自分の地域内で団結力が高まり地域同士で関わったりできる。	➤ スポーツイベントによる地域の団結